

# 令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
柔道2							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整備学科・夜間部	2年	3・4期	岡村 忠彦		○		
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門基礎分野	保健医療福祉と柔道整備の理念			実技	1	20	
科目概要							
<p>基本的には二人一組での投技の対人実技が中心となります。 個人差(技術、体力、経験、性等、その他)を考慮して授業を進めていきます。</p>							
目標							
<b>一般目標(GIO)</b> <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>	柔道の持つ特性をふまえ、柔道に必要な基礎的な技能の修得を図る。特に礼法・受身の修得に重点を置く。また技能修得を通じて、礼儀、遵法といった精神修養を図っていく。 上記の学習を通じて柔道整備師の礎となる人間性の向上を図っていく。						
<b>到達目標(SBO)</b> <small>一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)</small>	①正しい礼法(立礼・座礼)を修得する。 ②正しい受身(後方受身・側方受身・前回受身)を修得する。 ③基本的な投技・投の形を修得する。 ④授業を通じ、礼儀・遵法等の医療人としての素養を身に付ける。						
履修に必要な予備知識や技能							
1年時及び2年時の前期に修得した技術・知識をふまえ、手順を踏んで指導していきます。							
教科書・参考書							
特になし。							
受講上の注意							
貴金属類(指輪、ネックレス、イヤリング等)は必ずはずすこと。 当然ながらガムや飴等を食べながらの受講は厳禁。 格技故やり方を誤ると怪我につながるため、怪我防止のための注意事項は厳守すること。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (クイズ形式)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
実技試験実施要項							
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	投の形(浮落)				柔道衣		
第2回	投の形(浮落)				柔道衣		
第3回	投の形(背負投)				柔道衣		
第4回	投の形(背負投)				柔道衣		
第5回	投の形(肩車)				柔道衣		
第6回	投の形(肩車)				柔道衣		
第7回	投の形(浮腰)				柔道衣		
第8回	投の形(浮腰)				柔道衣		
第9回	投の形(払腰)				柔道衣		
第10回	投の形(払腰)				柔道衣		
第11回	投の形(釣込腰)				柔道衣		
第12回	投の形(釣込腰)				柔道衣		
第13回	投の形(送足払)				柔道衣		
第14回	投の形(送足払)				柔道衣		
第15回	投の形(支釣込足)				柔道衣		
第16回	投の形(支釣込足)				柔道衣		
第17回	投の形(内股)				柔道衣		
第18回	投の形(内股)				柔道衣		
第19回	定期試験				柔道衣		
第20回	総括				柔道衣		
実務経験と本講義との関連について							
講道館、早稲田実業学校、複数の柔道整備師養成専門学校等で柔道実技の指導に携わってきました。 柔道教授歴は24年になります。その経験を生かし、安全面に十分配慮しながら、柔道整備師にとって必要とされる技術、知識を教授いたします。							
メールアドレス							
okamura-t@nihonisen.ac.jp							